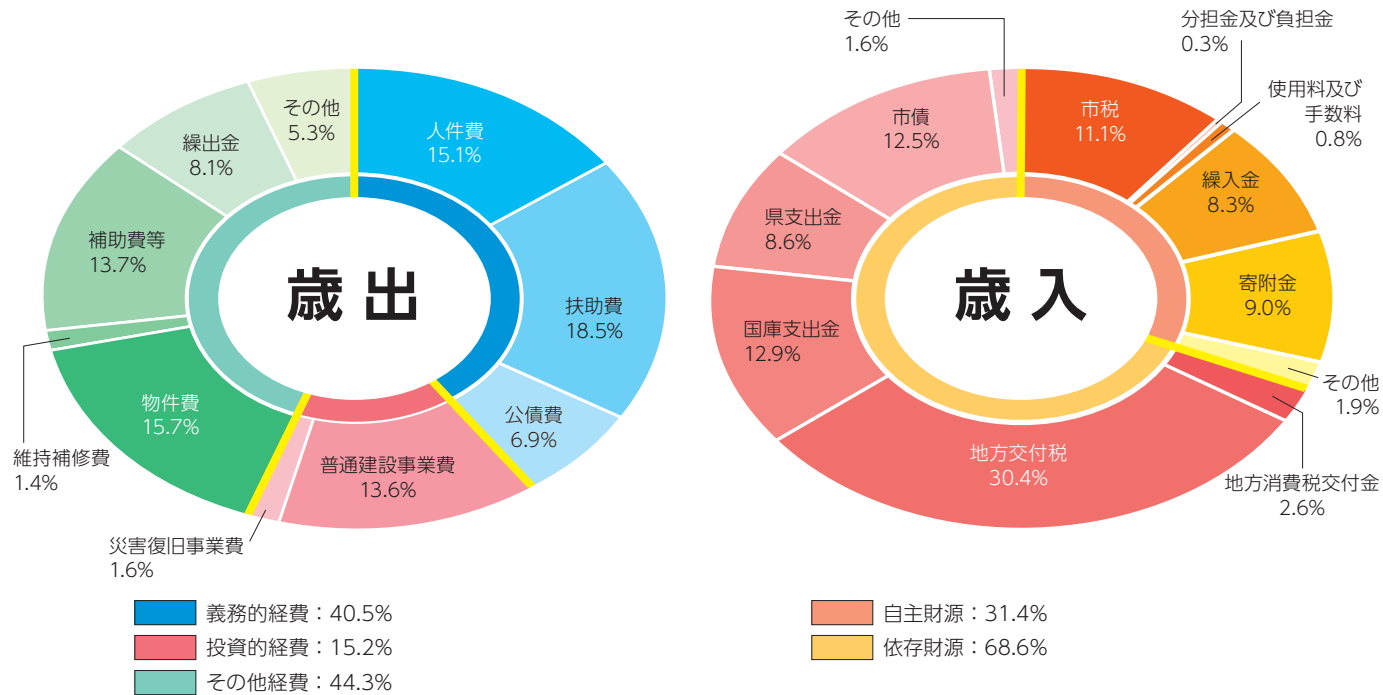


令和7年度 一般会計当初予算総額

167億3千万円

前年度比 1.76%増



※構成比については、四捨五入のため、内訳と合計が一致しない場合があります。

その他の経費につきましては、物件費は、対前年度比で4億2,552万8千円、率にして19・3%の増、補助費等は、対前年度比で716万1千円、率にして0・3%の増、積立金は対前年度比で3億3,744万5千円、率にして32・1%の減となっております。これは、がんばつどふるさと応援基金積立金の減が主な要因となっております。

歳出

義務的経費につきましては、対前年度比で5億998万4千円、率にして8・1%の増となっております。

市債につきましては、串間市消防庁舎整備事業および河川改修事業、市町村道整備事業などの事業費が増となり、対前年度比で3億3,020万円、率にして18・7%の増となっております。

歳入

歳入予算の財源構成につきましては、自主財源が対前年度比で4億3,230万円、率にして7・6%の減となっております。

(単位：千円、%、△は減)

会 計 名		令和7年度当初予算(A)	令和6年度当初予算(B)	比較(A)-(B)	伸率
一般会計		16,730,000	16,440,000	290,000	1.8
特別会計	国民健康保険特別会計(事業勘定)	2,408,702	2,685,340	△276,638	△10.3
	後期高齢者医療特別会計	767,875	729,776	38,099	5.2
	介護保険特別会計(事業勘定)	2,307,715	2,542,891	△235,176	△9.2
	市木診療所特別会計	69,139	60,113	9,026	15.0
	小 計	5,553,431	6,018,120	△464,689	△7.7
病院事業会計(収益的支出および資本的支出)		2,495,194	2,407,214	87,980	3.6
水道事業会計(収益的支出および資本的支出)		937,451	796,380	141,071	17.7
下水道事業会計(収益的支出および資本的支出)		236,912	224,112	12,800	5.7
合 計		25,952,988	25,885,826	67,162	0.3

令和7年度 当初予算の内訳 (特別会計・企業会計含む)

詳細については市公式サイトをご覧ください



令和7年度 施政方針 (抜粋)



串間市長 島田 俊光

「豊かな自然と共存し みんなで創り育てる 多様性と持続性のまち くしま」の実現に向けて――

はじめに

令和3年10月から、第19代串間市長として2期目の市政運営を担わせていただいております。令和7年度は市長任期の最終年度となります。

2期目を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰対策、人口減少・少子高齢化への取り組みを最優先に、大規模災害を見据えた災害に強いまちづくりの推進、基幹産業である農林水産業の振興、地球温暖化防止対策などさまざまな課題に対して、真正面から取り組んでまいりました。

そのような中、昨年4月に東九州自動車道の未事業化区間でありました「南郷く奈留」間の新規事業化が決定したことは、長年の悲願であり、こ

れまでご尽力いただいたすべての関係者の皆さまには、あらためて心より感謝申し上げます。また、昨年は市制施行70周年の節目の年でありました。

記念式典をはじめ多くの記念事業を通じて、本市の発展にご尽力いただいた先人たちに心から感謝するとともに、受け継ぎ、守られてきた自然・伝統、文化の尊さを強く感じるところであります。

令和7年度は第6次串間市長期総合計画前期基本計画の最終年度であります。これまで先人たちが70年間大切に守り育ててきた「財産」を次の世代にしっかりと引き継ぎ、串間市が未来に向けてさらなる飛躍・発展・進化できるよう全力を尽くしてまいります。

令和7年度の市政運営の基本的な考え方

令和7年度の市政運営にあたりましては、人口減少の進行や物価高騰による市民生活への影響、担い手不足など、本市が直面する課題の解決や将来を見据えた未来志向の施策を展開するとともに、長期総合計画前期基本計画の最終年度であることを踏まえ、次に掲げる施策を重点的に推進してまいります。

01 「子育て世代・若者に選ばれる環境づくり」の推進

子育て世代への支援の強化として、令和7年度から保育料の完全無償化に取り組みます。また、保育体験や福島高校の魅力向上などを通して、将来的な若者の移住・定住につなげるとともに、ICT教育の充実や、重層的支援体制整備をはじめとした新たな地域共生社会づくりを進めるなど、人口減少や少子高齢化を見据えた施策の推進に取り組んでまいります。

02 「物価高騰などを克服するための経済・産業成長の促進」

人材確保や就労環境整備など労働力不足解消のための支援のほか、農林水産業の所得向上や地産地消・販路拡大の取り組みを強化し、地域産業の成長へつなげてまいります。

また、重点対策加速化事業などカーボンニュートラルの推進、体験型観光メニューの造成や効果的な観光プロモーションを通

03 「安全・安心な魅力あるまちづくり」の推進

じて、物価高騰などにより影響を受けている地域経済の早期回復を図ってまいります。

老朽化した公共施設の整備・改修など公共施設マネジメントに着実に取り組むとともに、消防庁舎整備をはじめとした防災機能の充実、第81回国民スポーツ大会の受け入れ態勢の整備、書かないワンストップ窓口の導入など自治体DXの推進、福祉・介護分野における人材確保対策など、災害に強く、安全・安心な魅力あるまちづくりを推進してまいります。

令和7年度においては、これらの取り組みをしっかりと行いながら、行政諸課題の解決に努めるとともに、第6次長期総合計画前期基本計画における各項目の中間目標を達成できるよう全力を尽くし、基本理念であります「豊かな自然と共存し みんなで創り育てる 多様性と持続性のまち くしま」の実現に尽力してまいります。

令和7年度予算案の概要

厳しい財政状況が続いておりますが、令和7年度は、市民のウェルビーイングを念頭に置いた上で、見直すべき事業を見直し、無駄を無くすとともに、優先順位の決定や財源の配分など、部門内の予算調整を行うこととしたところであります。

また、令和6年度に続き、がんばつどふるさと応援基金の一部を原資とした「魅力あるまちづくり事業」として、人口減少対策などの地方創生やふるさと納税の推進に寄与する事業に取り組むこととしたところであります。

おわりに

以上、令和7年度の市政運営の基本的な考え方について申し上げます。どうしてもこうでなければならぬ、強い意志が経営者には必要なのである」

これは、経営者として尊敬する京セラ株式会社創業の故・稲盛和夫さんの言葉であります。

私は、この言葉を常に心に持ち続け、串間市政のさらなる発展のため、全身全霊で取り組んでまいりました。

任期最終年度である令和7年度も「団結」「継続」「変革」の政治信念のもと、職員と一丸となり、全力を傾注してまいります。



施政方針の全文はこちら